



中間考査を終えて

5月31日(月)から6月2日(水)まで、中間考査が行われました。初めての定期考査ということで、みなさん緊張した面持ちで試験に取り組んでいる様子でした。これから返却されるテストに一喜一憂することでしょうが、一問一問を大切に振り返り、しっかり復習しましょう。

- ① **学習計画を真剣に立てましたか?** 自分の計画に沿って試験範囲を全て復習しましたか?試験日までに必要な学習量、確保すべき学習時間を算段して、適切に計画を立てることこそが、身につけるべき能力です。自分に合った計画を立てましょう。
- ② **ワークや授業ノートなどの提出物を、期限までに提出しましたか?** 期日に提出したワークを点検すると、白紙空欄のままや、答え合わせができていないものがあります。考査の前日までに、必ず確認する習慣を付けましょう。



学年通信『雲外蒼天』に決定

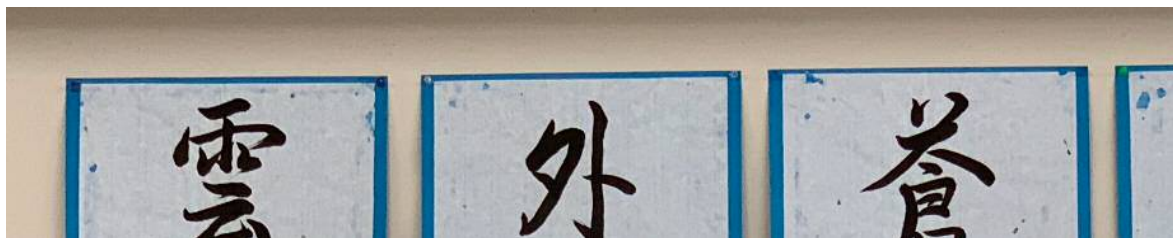
学年通信のタイトル募集し、全員の意見を公開して投票を行った結果、「雲外蒼天」に決定しました。この座右の銘にされることも多い四字熟語は、「どんよりとした雲の上には、晴れ晴れとした青空が広がっている。」、転じて、「困難を乗り越えれば明るい未来が待っている」という意味です。「辛抱して頑張り続ければ、きっと良いことがある。」と解釈して、意気消沈した人を励ます時に用いられるようになりました。

折しも、今年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」に重なる、しびいタイトルになりました。(歴史好きの人の提案だと思いますが、多数の投票は、きっと担任を忖度してくれたのだと思います。笑)

このドラマは「日本資本主義の父」と称され、令和6年度から新一万円札の顔となる渋沢栄一の生涯を描いたものです。渋沢栄一は、激動の江戸末期に農民として生まれ、縁を得て幕臣に取り立てられ、徳川昭武に随行してフランスで学び、特に経済面に能力を発揮し、渡航費用を増やして帰国しました。その後、明治政府でも活躍、銀行・商工会議所・証券取引所など、多種多様な経済団体の設立・経営に携わり、その数は「600社以上」と言われます。

その渋沢の著、「論語と算盤」を紹介したいと思います。簡単には、一見相容れない「道徳心と経済活動は両立する。」ということですが、この考えの基になっている、幼少期の学問に注目して欲しいと思います。今身につけた学習が、いつ、どこで、どんな役に立つかは誰にも予測できません。

私たちは、目の前のテスト範囲ばかりを気にしがちです。もちろんそれも大事ですが、もっと視野を広げ、将来の自分へのプレゼントを積み重ね、「青天を衝け」と願ってやみません。



竹内初心さん書

漢字・英語テスト結果

第1回漢字テスト (4月27日実施)

学年平均 95.8点

第1回英語テスト (5月20日実施)

学年平均 89.4点

満点賞!!

第1回漢字テスト

井田 海老・伊東 亜里紗・木村 瑠那

高藤 華・竹澤 匠一朗・中村 遙斗

中山 湧斗・西田 詩音・栗村 虹都

松島 咲来・山下 輝之

第1回英語テスト

井坂 翔基・伊東 亜里紗・大田 梨央奈

木村 瑠那・坂谷 華・竹澤 匠一朗

田中 利玖・中村 遙斗・中山 湧斗

西田 詩音・野中 勇我・栗村 虹都

6月の予定

5日(土) 体育大会
(悪天候により中止)

7日(月) 夏服開始

8日(火) 頭髪服装検査

14日(月) 常任委員会
本部委員会
教育実習開始
(~7月3日)

16日(水) 総務委員会

17日(木) 月次祭・6限下校

25日(金) 第2回漢字テスト

27日(日) 英語検定二次試験

28日(月) 大掃除 45分授業